

アメリカ合衆国大統領

ジョセフ・ロビネット・バイデン・ジュニア 閣下

駐日アメリカ合衆国大使

ラーム・エマニュエル 閣下

抗 議 文

川崎市議会は、真の恒久平和と安全を実現させることは人類共通の願いであるとの認識の下、昭和57年（1982年）に「核兵器廃絶平和都市宣言」を全会一致で可決し、平和推進事業に積極的に取り組んでおり、これまでも各国で核実験が行われた際には、抗議の意思を表明してきたところです。

この度、貴国が、令和3年9月に引き続き、本年5月にネバダ州において、臨界前核実験を実施したことが明らかにされましたが、これは、核兵器の廃絶を願う全ての人々の思いを踏みにじる行為であり、到底許せるものではなく、厳重に抗議します。

貴国が、今後臨界前核実験を含む一切の核実験を中止し、国際社会における核兵器廃絶と恒久平和の願いに応え、核兵器廃絶に向け最大限の努力をされることを強く申し入れます。

令和6年（2024年）5月20日

川崎市議会議長 青 木 功 雄